

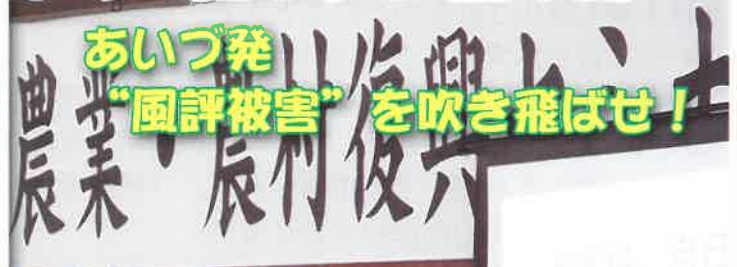
2013
3
No.135

喜多方普及だより

～ 喜多方からはじめよう 喜び多い福の島 ～



大勢の参加者が熱心に聴講



「会津ならではの産品を！」ふくしま市場櫻田店長



会津のパラエティーに富む6次化産品

福島第一原発事故による風評被害は、ここ会津地方でも未だに深刻な状況にあります。

そこで、消費者サイドと生産者サイドからの風評被害払拭のための意見を交わし、会津一丸となって農業・農村の復興を目指すため、去る1月29日、湯川村において、「ふくしま農業・農村復興セミナーinあいつ」を会津地方指導農業士会と会津方部青年農業士連絡協議会との共催で開催しました。

まず、首都圏で本県のアンテナショップ・ふくしま市場で平成18年オープン当時から店長として活躍中の櫻田 武さんから、震災後のショップについて生産者をはじめ多くの方々の支えに感動されたことや会津ならではの特徴を活かした6次化産品への期待など、消費者の視線に立った風評克服のポイントをお話いただきました。

その後、郡山市の若手農業者で野菜ソムリエとしても活躍中の藤田浩志さんと、会津坂下町で6次化に取り組む百姓HOUSE代表の古口陽子さんから、生産者が取り組む風評克服の取り組みを事例報告していただきました。

さらに、会場には会津13市町村の多くの6次化産品が展示・販売され、熱心な意見交換が見られるなど、200名を超える参加者による復興に向けた機運が醸成されたようです。

当普及所は、このイベントの成果を今後の復興に向けた普及活動へ活用してまいります。

米の全袋検査へのご協力ありがとうございました

米の全袋検査にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

昨年末までに、喜多方地域において生産され販売または自家保有される米を対象に、約100万袋の検査が終了しました（表1）。

平成24年度より適用された新基準値の100ベクレルはもとより、半分の50ベクレルを超える米は1袋も検出されなかったことから、当地域において生産される米の安全性は十分に確保されていると言えます。

検査に対する評価は、米を直接販売する生産者、卸・小売業者など消費者サイドに近いほど高く、県産米の信頼性が向上したとの声が聞かれています。一方で、首都圏の業者からは、消費者レベルの認知度が低いとの指摘があり、「消費者に対して、どこまで認知させるかが福島米復活の鍵」との意見をいただいております。

これらの意見を踏まえ、あらゆる機会を捉えた周知活動を展開し、皆様と一緒に安全・安心な米づくりの取組を発信する広報やPRを行って参りたいと考えております。

自信を持って安全・安心を提供できる産地として、内容をさらに改善しながら平成25年産米も自主検査体制を継続して参りますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

表1 検査結果について（平成25年1月30日現在、県協議会HP公表データより）

〈スクリーニング検査〉

	測定下限値未満(25未満)	25～50ベクレル/kg	51～75ベクレル/kg	76～100ベクレル/kg	計
検査点数	987,013	68	0	0	987,081

注：カントリーエレベーター、フレコンバックの検査点数は含まれない。

〈詳細検査〉

	25未満ベクレル/kg	25～50ベクレル/kg	51～75ベクレル/kg	76～100ベクレル/kg	100ベクレル/kg超	計
検査点数	57	0	0	0	0	57

注：詳細検査は、スクリーニング検査で25～50ベクレル/kgとなった検体について、ゲルマニウム半導体検出器により行った。



今年も安全・安心、そしておいしい “喜多方産農畜産物”の生産に取り組みましょう！

共通

昨年度から実施してきた農畜産物等の放射能物質モニタリング検査結果から、喜多方地域ではそのほとんどが検出限界値未満（N. D.）ないしは極微量の検出となっており、深耕や天地返しなどの抜本的な土壌改良の必要性は薄いと判断されます。

しかしながら、一部のそばや大豆等で微量のセシウムが検出されたことから、必要な技術対策を講じ、今年も安全・安心、そしておいしい“喜多方産農畜産物”の生産に取り組んでいきましょう。

- ① 生産工程管理の徹底
- ② 土づくりの徹底
- ③ 農作業の安全対策



各作物のポイント

水稲

- ・ 土壌改良資材をはじめ、カリ肥料の適量施用でセシウム吸収抑制対策の推進
- ・ 良質堆肥や腐熟促進用資材等の施用による土づくりの励行
- ・ 高温対策の上からも適期田植えの徹底（5月下旬）
- ・ 中干し、間断灌漑、溝切り等による倒伏防止対策の徹底
- ・ 沢水利用の山沿いの水田については、迂回水路や調整池の設置などの取水対策の徹底

そば 大豆 麦等

- ・ セシウム吸収抑制対策として、カリ肥料や石灰資材の施用
- ・ 良質堆肥の投入による土づくりの励行
- ・ 収穫・乾燥時の土壌混入・付着防止等

野菜

- ・ 各品目に適したカリ肥料の適正施肥と石灰質肥料等による土壌pH調整
- ・ 原発事故当時、屋外に置いた古ビニールや被覆資材の使用禁止
- ・ 収穫物の土壌付着による放射性物質の二次汚染に注意
- ・ ハウス等施設栽培の高温対策上、遮光（黒寒冷紗は不可）や妻面の開放

果樹

- ・ 土壌診断データに基づく樹種に合った適正施肥、粘土が少ない圃地でのカリ施用
- ・ 古くなり大型化した側枝の積極的な更新

花き

- ・ ハウス等施設栽培の高温対策上、遮光（黒寒冷紗は不可）や妻面の開放
- ・ 施設内作物の生育状態を見極めながらの循環扇の利用

畜産

- ・ 飼料用トウモロコシほ場の深耕実施、実施可能な草地の更新推進
- ・ サイロやサイレージへの土砂・雨水流入防止
- ・ 放射能物質に汚染されていない粗飼料（セシウム100ベクレル以下）給与の徹底
- ・ 廃用牛出荷時の飼料給餌対策の徹底、清浄な家畜飲料水の確保
- ・ 汚染の恐れがあるバークなど、敷料利用の差し控え

ガンバってます！

渡部源一郎さん
(喜多方市塩川町)

渡部源一郎さん(29)をご紹介します。

渡部さんは、小さいころからモノを作ることが大好きで、専門学校卒業後、建築業に従事しました。しかし、もともと農業へ興味があり、近所の農家から声をかけられたことがきっかけで就農し、地元



渡部源一郎さん

で産地化されているミニトマトを生産することとなりました。

就農後、県国際農友会主催の農業経営者海外派遣研修に参加するなど、積極的に技術習得に励み、所属するJ A会津いでチェリートマト部会では、若手農業者で組織する青年会の初代会長に就任されました。青年会では、次年度より試験ほの設置や研修会の開催を積極的に行っていく予定です。

昨年7月に結婚され、今後、地域の担い手として、さらなる活躍が期待されます。

トピックス

新規就農者4組、 ミニトマト栽培開始へ！

普及所では新規就農希望者に対して、栽培技術の習得や事業計画の作成等を支援しています。本年度は、ミニトマト栽培の新規就農希望が4組ありました。

技術習得は、喜多方市塩川町堂島地区で農家研修を行い、さらに普及所員が講師となった座学研修を4回(栽培、植物防除、土壌肥料、経営)行いました。

約半年間にわたった研修を終え、4組とも平成25年からミニトマト栽培による本格的な農業経営を開始する予定で、今後の活躍が期待されます。



技術習得研修中

農業短大研修案内

- ① 農産加工研修 ・加工技術の基礎、米粉菓子の作り方、果実の保存技術など
- ② 就農研修 ・栽培体験など
- ③ 農業機械研修 ・運転免許取得、機械技術の向上、安全作業推進など

4月以降に、上記研修を予定しています。新規就農される方や技術向上を目指す方など、お問い合わせの上、ぜひご参加ください。本校施設を利用した自主研修も可能なので、詳細は普及所にお問い合わせください。

農業使用基準を遵守し、農業は適正に使用しましょう！
農作業事故が増えています。余裕をもった作業を心がけましょう。

～ 内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ～

会津農林事務所 喜多方農業普及所

住所 〒966-0901 喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3

電話 0241-24-5743、5745 FAX 24-5746 E-mail kitakata.af04@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ [喜多方農業普及所](#)

